



年七十來以植入		梅辨植民地の生産統計	
—一九一九年珈琲樹數		五千本	
—一九一九年珈琲樹數		八十餘萬本	
奥ソロカバナ最古の歴史		な有する梅辨植民地に入植以來現在で十七年、逐年發展の一途を辿りつてあるが同植民地生産物統計は左の如し	
—一九一九年		五〇〇本	
内譯		内譯	
人合		人合	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍		玉蜀黍	
甘蔗		甘蔗	
内譯		内譯	
豆		豆	
米		米	
玉蜀黍			

# 全口ノテス工年青野球大會

【写真はラグビーボールの全景】

【右カットは本社寄贈の優勝旗】

碧空高く打て！熱球  
我等が力示すは今ぞ



全ノロの巨豪七チームを迎へ

リンス原頭に野球豪華版

明治節の佳日！想ふ  
だに青春の血湧く神宮  
外苑のスポーツ、躍進

日本の大繪巻、遠く南  
米の在留同胞からこれ

に應ふべき本社リンス  
支社主催の全ノロエス

テ青年野球大會は愈よ  
開日切迫、来る一日か

ら初夏の香り高きリン  
ス球場に開催されるこ  
ととなつた

今川陣のチームを窺ふ  
に、孰れも名にし負ふ

思ひくの秘策を凝し  
陣容構成に腐心

オール・ノロエステの  
巨豪、アリアンサ、チ  
エテ、リンス、プロミ  
ツソン、ピリグ、カ  
フェランジア、グワイ

サラの七チーム、三  
旬に亘る猛練習に戦士  
の意氣彌々けんね、拓  
人第二の故郷として呼  
びなせるわれ等が驛の  
名譽にかけて……制覇  
がある

更に日を轉すればリン  
ス球場——リンス市の  
西南高臺に滑らかに敷  
きのべられたテークは

遠く一望の下に俯瞰す  
るリンス市街の興奮と  
相俟つて無言の球場に  
熱戦の氣魄早くもせま  
るものがある

来る一日！投げよ熱  
球！打てよ白球！碧  
空高く、母國の空にこ  
だまするまで！われ  
等が力示すは今ぞ今！

参加チームを窺く

今回の大会は出場資格が一級チ  
ームとされてゐる。顧客から参加各  
チームはその構成に頗る深慮な拂  
つてゐる。一瞬に存在する二三の  
チームの内、豫選などして優勝チ  
ームその地代表チームとして出場  
せしむる可きか、將又各チームの  
精を抜き集めて新たなる合成チ  
ームを形成して出場せしむる可きか、  
此の點は一様に各出場チーム地元  
の青年會或は指導者の議論の中心  
となり深甚なる考慮の拂はれた點で  
ある。従つてリーグの如きは新規  
の選手たちからすゞづて新規  
チームを組織し、リンス代表チー  
ムとして、アリアンサの如きは、功  
なつた從來のチームなどのまゝ、出  
場せしむることとなり、各地思ひ  
くの秘策が此の陣容構成の點に  
附注されてゐる。

野球大會は從來の野球界に新生面  
を開拓するものであり、この點野  
球ファンの多大の興味を惹く一因  
として北西に否伯國金士に豪傑  
なされたものである。

あります



# 戦況を取て豫測すれば

## 白兵戦の一語に盡く

新興古豪チームの顔振れに

### 戦慄に似た興奮を覺ゆ

一野球熱愛者寄稿

(五) 昭和九年十月二十七日 (土曜日)

全ノロエース青年野球大會がアラカルト報、ソニス支社の主催で明治節の佳日なトドシからも意義のある野球狂にて至る喜びである。今度は開催準備に日夜鍛錬され、ある主催者の努力に敬意を表すると共に、本大會をして名實共にアラカルトにける最高威儀ある寵物たらしむく一般同胞の惜しまざる援助を切望して止まない。

野球は「血は躍る」なんて云ふやうな生ぬるい言葉では表現出来ない程の一種の壓力を感じるのであるが

野球を聞いただけでも、もう我々は「血は躍る」なんて云ふ

角さして、これら非現人に対する思ふ

今回の勝利運動云ふ見地からも

云はねばならない

また、スポーツ野球によつて自己

鍛錬はれてゆくスポーツマンシ

ップは勿論のこと、團結心或は敏

活性なる動作等は世に謂ふ第二世教

育上にも決して軽視出来るものさ

思ふ

今回の大会は意義深いものさ

云ひたい。—所謂非フ

アンはこの野球と云ふ言葉はござ

る筈のであらうが、それはさに

ある種の啓蒙運動云ふ見地からも

意義深いものさ

云ひたい。—

野球の力は、

</div

## 戦況の豫想

〔前頁より續く〕

△の外野手には見るべきのが多く頭角な現はしてゐた。殊に左翼手中島君の技量と闘志には驚かされた、対バストス戦に足を残さつてゐた續合の意氣は其の技量と相俟つてむじろ涙ぐましい情景であつた。試合後入院したと後に聞いた——然し獨り中島君のみならず各選手が、んな元氣さであつたことを考へれば今回の大會までには一入練習したチームになつてゐることと思ふ。

投手山上君は極めて地味な投球振りで投げきはなかつたが、アリアンサ、バストス軍の健棒主意に苦しみたあたり堅實で緻密な投球であつた。谷口投手の軟球は對リソス戦に於いてバンドに腕く自軍を苦戦に陥れらしはしたが彼獨特のスロー・モーションは、昨年非常な威力を

見せたものである

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△



